

取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。取扱説明書は、大切に保管してください。

⚠ 安全上の注意 必ずお守りください

取り扱いを誤った場合、人が傷を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定されるものを示しています。

- ・本製品が火やおきにより長く加熱されると、ハンドルに熱が伝わりやけどのおそれがある他、表面の塗装が燃えて剥離の原因となります。
- ・火のついた薪やおきを炉外へ移動しないでください。落下して思わぬケガや事故につながるおそれがあります。
- ・火吹き棒をご使用の際は、高温の煙を体内に吸引しないよう先端(吹き出し口)を火や煙から15cm以上離してご使用ください。
- ・本製品をストーブ、または暖炉に近づけて設置すると、加熱によるやけどのおそれがある他、革や木部、ブラシが劣化する原因となりますので、ご使用のストーブ、または暖炉に定められた防火上安全な離隔距離を確保し、平らな場所に設置してください。
- ・灰や炭の除去など、炉内の掃除をする際は、火が完全に消えたことを確認し、ストーブが冷めた状態で行ってください。やけどのおそれがある他、塗装やブラシなどの破損原因となります。
- ・ご使用の際は燃えにくく断熱効果のある手袋を着用し、やけどに注意してください。
- ・小さいお子様の手の届かない場所で保管、ご使用ください。
- ・ご使用中まれに、勢いよくおきや火の粉が飛び出る場合がありますので、やけどや周囲の燃えるものには充分ご注意ください。
- ・湿気の多い場所に保管しないでください。錆やカビが発生する

場合があります。

- ・直射日光により、革が変色する場合があります。
- ・用途以外に使用しないでください。

用途・使用方法

薪ストーブ、および暖炉などのファイヤーツールです。

【薪ばさみ】

炉内に薪を入れる際にご使用ください。

【シャベル&ブラシ】

薪ストーブ、および暖炉などの炉内、周辺を掃除するツールです。

【火吹き棒&火かき棒】

- ・空気を吹き込み燃焼を促す「火吹き棒」と、薪の位置を調整する「火かき棒」が一体となったツールです。
- ・両手で支え先端を火種に向けて構え、大きく息を吸い込んだ後、木製ハンドル側に口をあてて吹き出します。

【スタンド】

各ツールを使用しないときは、付属のスタンドに掛けて保管してください。

仕様

- サイズ: W230×D180×H740mm
- 材質: 鉄、真鍮、牛革 ナチュラル/ブナ材 アヴァーヌ/クルミ材
ブラシ/馬毛、タンピコ ●重量: 4.5kg ●ポーランド製
- 【品番】・70013 (ナチュラル) ・70014 (アヴァーヌ)
・70030 (ノール) ・70031 (オリープ) ・70032 (グラファイト)

お手入れ方法

- 【金属部】・本製品が冷めた状態で行ってください。・乾拭き、または水で濡らした後、かたく絞った柔らかい布で拭いてください。
・火吹き棒(火かき棒)をご使用中、先端に灰などが詰まったら、針金等を使用し除去してください。
- 【木部/革部】・乾拭き、または水で濡らした後で、かたく絞った柔らかい布で拭いてください。・水分を多く含んだ布でお手入れすると、木肌や革がカサカサになりますのでおやめください。また、全体をまんべんなく拭くように心がけてください。一定の範囲だけを集中して拭き続けると、色味やツヤがムラになる原因となります。
・中性洗剤や市販のクリーナーなどをご使用にならないでください。・革のツヤが落ちてきた場合は、専用のワックス(植物性)で半年を目安にメンテナンスを行ってください。
- 【ブラシ部】・水洗いは避けてください。毛切れや抜け毛、カビの原因となります。・ご使用后、先端を軽くはたいてください。汚れが気になる時は布で軽くふき取ってください。



ファイヤーサイド株式会社
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂497-871
☎ 0120-46-7877
<https://www.firesidestove.com>
© Fireside Co., Ltd. FS-⑥